

(仮称)ならはスマートICの整備実現に向けた県の支援



福島県相双建設事務所
企画調査課 技師 瓜生 健人

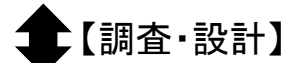
支援業務の概要

計画箇所: 双葉郡楡葉町大字大谷地内(常磐自動車道ならはPAへの接続)

1. はじめに <スマートIC設置の流れ>

- 広域的検討 …(1)
- 勉強会or検討会での検討 …(2)
- 地区協議会の設立、検討調整 …(3)
- 実施計画書の策定、提出 …(4)
- 連結許可申請 …(5)
- 連結許可 …(6)
- 事業開始 …(7)
- 供用 …(8)

地元市町村が主体となる業務



関係機関との協議、調整
(国、NEXCO、県)
費用負担 設置費用
社会利便 構造
周辺道路の安全性

負担大

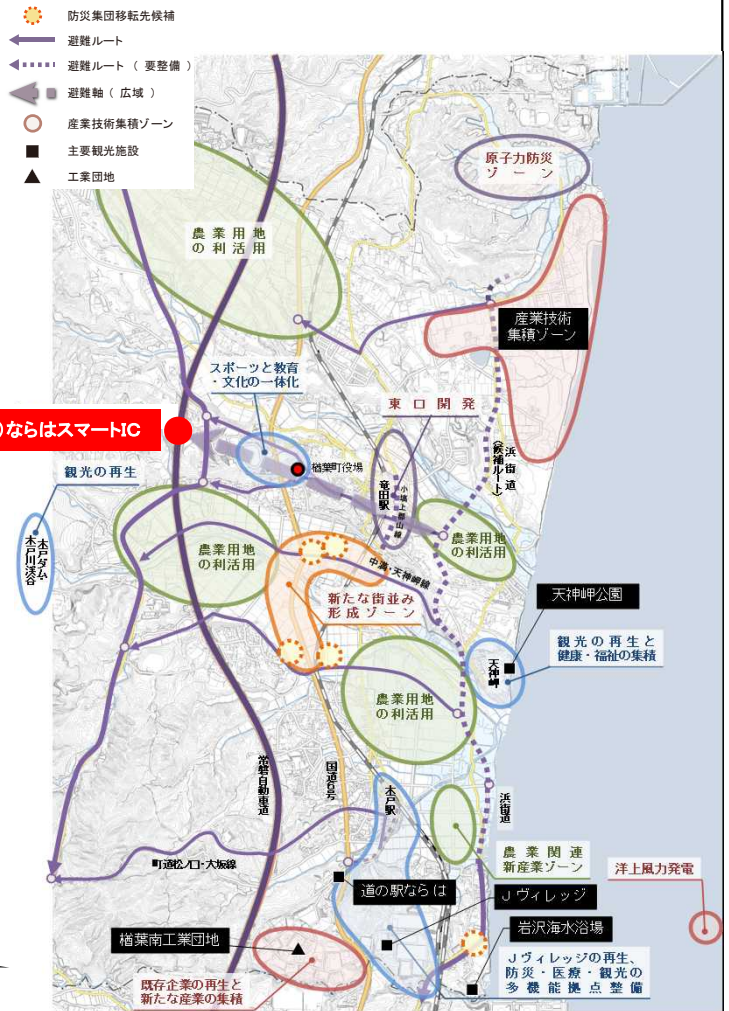
2. 経緯

H18~H22 ならはPA接続型追加ICにかかる検討

H23. 3. 11 東日本大震災 復興計画を策定する段階で必要性再認識

→ H26春に帰町判断 → 帰町のための施策として不可欠、インパクト大

原発事故による避難指示区域の指定
復興事業増大によるマンパワー不足



資料: 楡葉町復興計画<第二次>概要版 H25. 5/楡葉町

県の支援 : 町を支援する観点から、従来、地元市町村が主体で実施する調査・設計を県で受託

- 人的支援及び技術的支援
- 事業化へ向けた円滑な事務手続きの運営
- 早期供用開始

3. 内 容

県が中心となって関係機関との協議、調整を実施

(1) 勉強会設立(H25. 9)

国、NEXCO、檜葉町、福島県のメンバーで構成された勉強会を設立。組織体制や今後の流れ等を確認。意思統一。

(2) ルート比較検討・交通量推計等

測量及び概略設計、交通量推計委託業務の発注。構造、走行性・安全性、概算事業費、採算性、費用便益比等の様々な材料を考慮してルートを検討。



勉強会、関係機関との協議 (国、NEXCO、檜葉町、県警)



写真: 勉強会の様子

(3) 実施計画書(案)作成

復興支援、観光来訪促進、救急医療対策、災害対応、渋滞緩和をテーマとしたスマートIC設置の整備効果及び社会便益等の整理。



(4) 勉強会での最終確認(H26. 3)

概略ルート、概算事業費、計画交通量、実施計画書(案)等の最終確認。地区協議会の構成委員の調整。

(5) 地区協議会開催

実施計画書(案)の策定。

(6) 連結許可申請(町→国)

実施計画書の提出。

(7) 連結許可(国→町)

H26. 8. 8 連結許可

4. 支援成果

(1) 円滑な協議、調整

勉強会設立(H25. 9)
↓ 約半年間
最終確認(H26. 3)

(2) スマートICに関する知識の習得

追加IC設置を検討している市町村※への支援、アドバイス

※南相馬町、双葉町、大熊町、富岡町

→ 勉強会の流れ、関係機関との協議、調整における留意点、実施計画書(案)への記載事項



写真: 連結許可書伝達式(檜葉町HP)

5. おわりに

(仮称)ならばスマートICの整備実現に向けて、協議、調整に携わっていただいた関係機関の皆様へ感謝申し上げます。なお、一刻も早い供用開始に向けて、今後とも様々な支援を継続していきたいと思います。